

令和２年度 第３回静岡市中小企業・小規模企業応援会議 議事録

開催日時	令和２年９月１７日（木） １０：００ ～ １２：００
開催場所	各委員の属する団体等の事務所等 ※ウェブ会議のため
出席委員 ※五十音順	青山達弘 座長、稲葉豊穂 委員、大谷裕紀 委員、高橋節郎 委員、 竹内佑騎 副座長、手塚光里 委員、中野真吾 委員、仁科満寿雄 委員、 松下恵美子 委員、八木邦明 委員、山崎かおり 委員 （１１名）
欠席委員 ※五十音順	佐藤由貴 委員、仁王尚夫 委員、 深田浩介 委員、矢部田久幸 委員（４名）
静岡市出席者 （事務局）	大村博 参与兼産業政策課長、松浦康弘 課長補佐兼企画係長、 福興敬太 主任主事
<p>※開会前に「Ｚｏｏｍ」の操作方法や各委員の機器の動作チェック、ウェブ会議における諸注意の確認、参加者の自己紹介を行う。</p> <p>１ 開会</p> <p>・開会に当たって、以下３点について確認を行う。</p> <p>①委員の出欠席状況について</p> <p>委員の過半数（１５名中１１名）が出席していることを報告。</p> <p>②会議の公開について</p> <p>委員から本日の会議について公開の了承を得た。</p> <p>また非公開とすべき事項が生じた場合は、その都度協議することを報告。</p> <p>③会議録の作成について</p> <p>会議録を作成し、市ホームページで公開することを委員から了承を得た。</p> <p>２ 青山座長 挨拶</p> <p>３ 議事</p> <p>（１）静岡市へ提案する意見のコンセプトについて</p> <p>・竹内副座長より、資料１を用いて説明。</p> <p>（２）グループ討論における論点について</p> <p>・事務局より、資料「【補足資料】グループ討論について」を使用して説明。</p> <p>※資料「提言書 構成イメージ（案）」を使用して「（４）提言書の構成イメージについて」を併せて説明。</p> <p>（３）グループ討論</p> <p>①ウィズ・コロナまたはポスト・コロナにおける中小企業振興にかかる課題の解決方法等について</p> <p>②「①」の解決方法等を実行するために必要な支援について</p> <p>③意見全体共有</p>	

【グループ討論のまとめ】

1 課題など

- ①（企業）中小企業が自分の強みを知らない・発信力が弱い・表現の仕方がわからない。
- ②（支援機関）中小企業の経営状況がそれぞれ違っており、支援状況が違う中で、きめ細かな支援ができていない
- ③（支援機関）新たに取り組む際に、企業が最初にどこへ相談していいかわからない。
- ④（企業・支援機関）コロナで倒産や失業が増える懸念があり、事業を引き継ぐ先が必要となっている。
- ⑤（行政）自助・共助・公助 → ついていけない企業もあるが、そこへの支援も一方で必要
- ⑥（共通）新たに取り組む時にきちんと効果検証が出来ていない
- ※ コロナが起こした変化 → 新しい働き方（兼業・副業等）・リモートワーク

2 解決方法

- ①中小企業の強みを気づかせ、表に出していく人（伴走者的な存在）が必要
→第三者視点で「宝」を探す
- ②オンラインをうまく活用し、個社ごとにあわせた経営支援の体制づくり
- ③最初に相談できる場づくり
- ④娘さんがいる経営者にむけて、「娘が事業を引き継ぐ」選択肢を増やせないか。
→事業承継のコーディネーターはほとんど男性
→全く知らないムスメだからこそ変化を起こせる！
女性の視点をもっと活用することで①～④の解決策が見つかるかも！
副業人材の活用を推進し、IT リテラシーの向上を進めてほしい
母親の視点・どうして静岡で子育てをしているのか・・・等
- ⑤静岡市の産業政策に、その点も常に触れてほしい。
- ⑥新たに取り組むことに対する KPI の設定（事業の終わり方もきちんと決める）

3 支援策案

- ①SNS や Line 等をつかった発信
- ②IT 初心者に対する教育人材の育成と場づくりの推進・情報発信
- ③IT に限らず、リテラシーレベルに即した支援人材の整備
- ④女性後継者支援機関 Anego の活用と連携
- ⑤第三者の「宝さがし」発掘チームの育成（事業者・母親・副業・ムスメ・・・）
- ⑥「行政・事業者ともに意識変革をしなければいけない。」という意識の醸成
→強みを気づかせ発信していく姿勢について、発信し続けるしかない。

（４）提言書の構成イメージについて

- ※「（２）グループ討論における論点について」で、事務局より併せて説明

4 次回開催日程

- ・事務局より説明。

「開催日が未定であること」「開催日が決定し次第、追って通知」をさせてもらうことを報告した。

5 閉会

- ・大村博 参与兼産業政策課長より挨拶。